

生活と自由を求めて金融資本の支配確立の犠牲となし、一路帝國主義戦争の準備に狂奔しつゝある。

則ち食と住事を求めて街頭に餓ゆる三百万の失業者を、

更に又は通り餓死地獄に送られしめる農村數十万の大家を、

しかも滿洲上海戦争を契機に街頭せるフアクト・社会フアクト、

かう幹共は支那階級の千矢となつて、我等に對する裏切と策謀を續けてゐる。

我日本労働組合總評議會公ニ因全國大会は、かかる状態の下に於つて、累年の窮の中にもあつた。だが、戦局的年代議事は身を以て大会を守り、露西の重大なる闘争に針を樹立し、更に